

# 第 I 部 総論

## 1 水道の普及状況

本県の水道普及率は、令和4年3月末現在で95.2%（総人口5,106千人に対して給水人口4,859千人）となっており、未給水人口は247千人となっています。

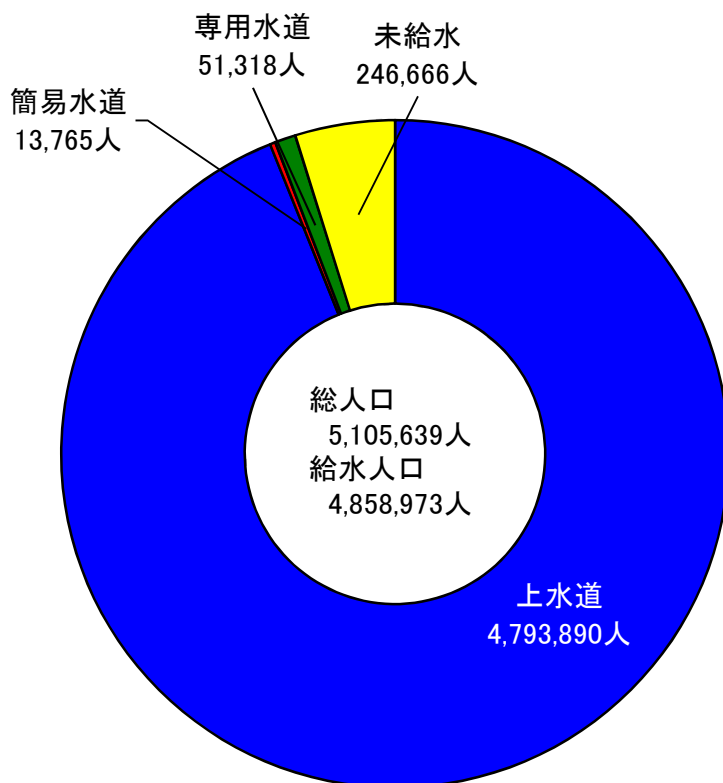
広域圏別の水道普及率は、福岡地区と筑豊地区がいずれも96.8%と最も高く、次いで北九州地区が96.5%、筑後地区が87.5%となっています。

また、給水人口の内訳は、上水道が4,794千人（98.7%）と大部分を占めており、次いで専用水道が51千人（1.1%）、簡易水道が14千人（0.3%）となっています。

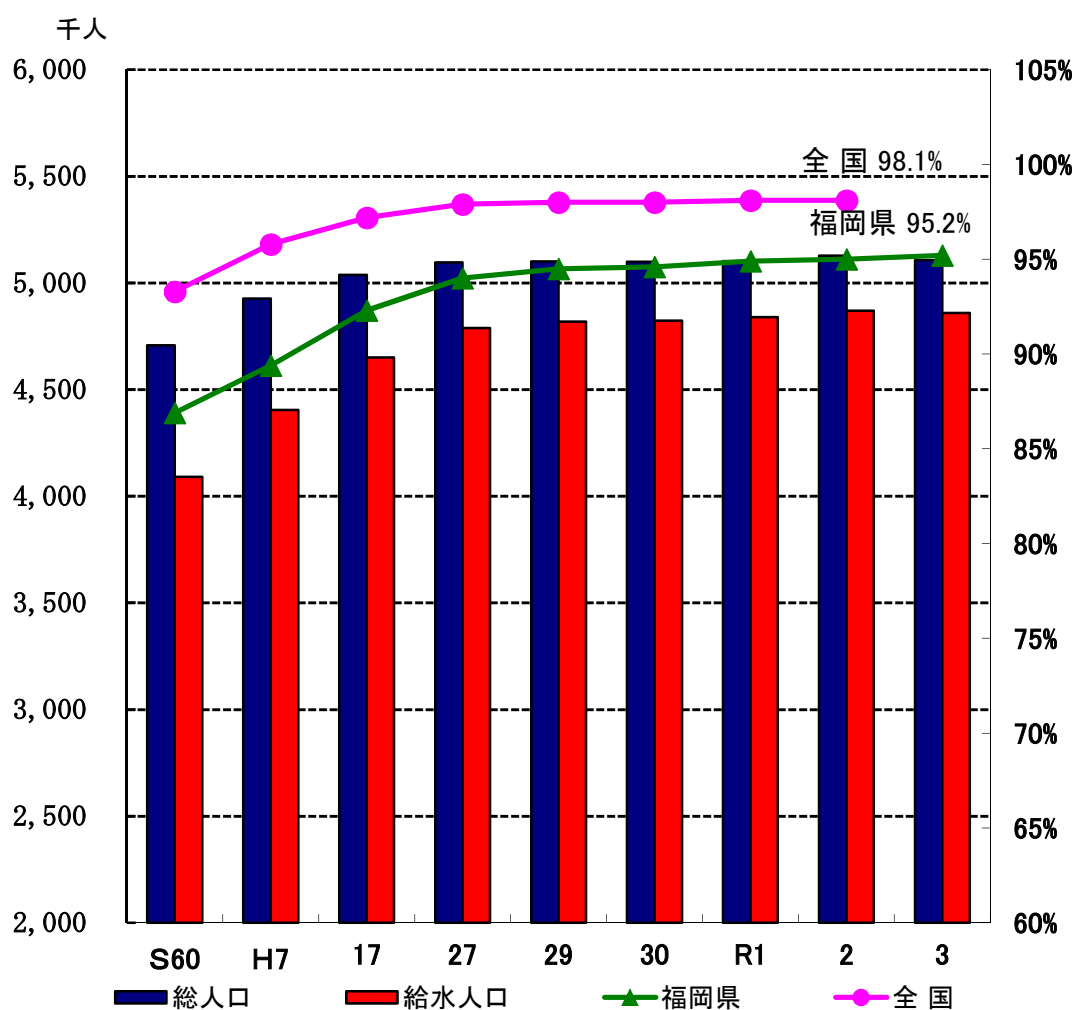
### ◎ 現在給水人口と普及率（令和4年3月末現在）

広域圏	総人口 (人)	現在給水人口(人)			未給水人口 (人)	普及率
		上水道	簡易水道	専用水道		
福岡	2,617,199	2,533,932	2,509,544	1,286	23,102	96.8%
北九州	1,235,578	1,192,416	1,185,192	3,927	3,297	96.5%
筑後	863,480	755,797	732,847	2,633	20,317	87.5%
筑豊	389,382	376,828	366,307	5,919	4,602	96.8%
県計	5,105,639	4,858,973	4,793,890	13,765	51,318	95.2%

※ 専用水道は、自己水源によるもののみを計上



◎ 水道普及状況の推移



	S60	H7	17	27	29	30	R1	2	3	
本県の総人口 (千人)	4,708	4,926	5,037	5,096	5,100	5,099	5,102	5,128	5,106	
本県の給水人口 (千人)	4,090	4,404	4,650	4,789	4,818	4,823	4,840	4,870	4,859	
普及率	福岡県	86.9%	89.4%	92.3%	94%	94.5%	94.6%	94.9%	95%	95.2%
	全国	93.3%	95.8%	97.2%	97.9%	98%	98%	98.1%	98.1%	未公表

※ 本資料作成時点で、全国の令和3年度値は未公表

## 2 給水の状況

### (1) 年間給水量

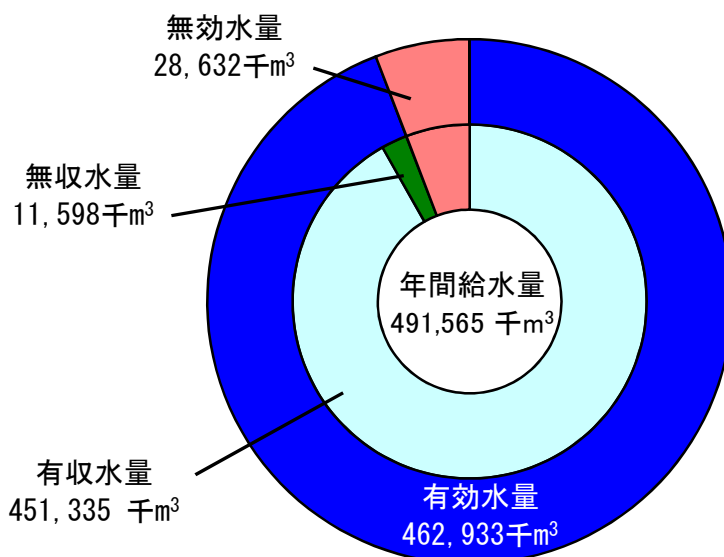
令和3年度の年間給水量は 491,565 千 m<sup>3</sup> となっており、その大部分を上水道による給水が占めています(99.7%)。なお、年間給水量は前年度から 2,091 千 m<sup>3</sup> 減少しています。

また、漏水などによる無効水量を除いた、年間給水量に対する有効水量の割合(有効率)は 94.2%となっています。

### ◎ 広域圏別給水量(上水道、簡易水道)

区分	広域圏	年間給水量 A (B+E)	有効水量 B	有効水量の内訳		無効水量 E	有効率 B/A	有収率 C/A
				有収水量 C	無収水量 D			
上水道	福岡	236,045	229,034	225,601	3,433	7,011	97.0%	95.6%
	北九州	132,541	122,552	119,160	3,392	9,989	92.5%	89.9%
	筑後	74,168	70,069	67,265	2,804	4,099	94.5%	90.7%
	筑豊	47,104	40,076	38,132	1,944	7,028	85.1%	81.0%
	計	489,858	461,731	450,158	11,573	28,127	94.3%	91.9%
簡易水道	福岡	151	120	118	2	31	79.5%	78.1%
	北九州	263	249	244	5	14	94.7%	92.8%
	筑後	428	276	266	10	152	64.5%	62.1%
	筑豊	865	557	549	8	308	64.4%	63.5%
	計	1,707	1,202	1,177	25	505	70.4%	69.0%
合計		491,565	462,933	451,335	11,598	28,632	94.2%	91.8%

※ 簡易水道の数値については、小数点以下を四捨五入しているため、合計値と一致しない。



- 年間給水量：水道事業者が自己の給水区域に対して給水した実績水量（有効水量＋無効水量）
- 有効水量：水道の使用上有効とされた水量（有収水量＋無収水量）
- 有収水量：料金徴収の対象となった水量
- 無収水量：料金徴収の対象とならなかった水量（管洗浄用水、メータ不感水量等）
- 無効水量：水道の使用上無効とされた水量（配水管からの漏水等）

(2) 用途別有収水量

上水道事業における有収水量の用途別内訳は、生活用が 372,916 千 m<sup>3</sup>、業務・営業用が 67,074 千 m<sup>3</sup>、工場用が 8,153 千 m<sup>3</sup>、その他が 2,015 千 m<sup>3</sup>となっており、生活用、業務・営業用がその大部分を占めています。

◎ 広域圏別用途別有収水量(上水道)

(単位:千m<sup>3</sup>)

広域圏	生活用	業務・営業用	工場用	その他	計
福岡	189,753	34,746	586	516	225,601
北九州	96,534	18,213	3,740	673	119,160
筑後	55,836	8,927	1,721	781	67,265
筑豊	30,793	5,188	2,106	45	38,132
計	372,916	67,074	8,153	2,015	450,158
構成比率	82.8%	14.9%	1.8%	0.4%	100.0%

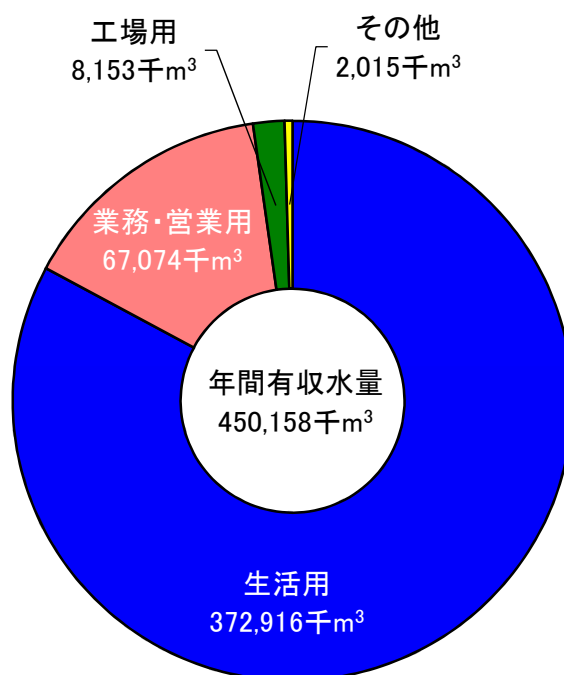
※ 用途区分は次のとおり

生活用：一般家庭用

業務・営業用：官公署用、学校用、病院用、事務所用、営業用、公衆浴場用等

工場用：工場用

その他：上記用途以外のもの



(3) 平均給水量、最大給水量

令和3年度における一日平均給水量は1,347千m<sup>3</sup>、一日最大給水量は1,506千m<sup>3</sup>となっています。

一人一日当たりでは平均給水量が280リットル、最大給水量が313リットルとなっており、広域圏別にみると、筑豊地区が最も多く、次いで北九州地区、筑後地区、福岡地区の順となっています。

◎ 広域圏別平均給水量、最大給水量

広域圏	区分	平均給水量		最大給水量	
		日平均 (m <sup>3</sup> )	一人一日 (リットル)	日最大 (m <sup>3</sup> )	一人一日 (リットル)
福岡	上水道	646,699	258	709,653	283
	簡易水道	415	322	537	418
	計	647,113	258	710,190	283
北九州	上水道	363,126	306	406,760	343
	簡易水道	720	183	869	221
	計	363,846	306	407,629	343
筑後	上水道	203,200	277	232,096	317
	簡易水道	1,174	446	1,651	627
	計	204,374	278	233,747	318
筑豊	上水道	129,052	352	151,462	413
	簡易水道	2,370	400	3,121	527
	計	131,422	353	154,583	415
県計	上水道	1,342,077	280	1,499,971	313
	簡易水道	4,678	340	6,178	449
	計	1,346,755	280	1,506,149	313
全国	上水道	-	332	-	375

※本資料作成時点で全国の令和3年度値が未公表のため、前年度(令和2年度)値を掲載

○ 平均給水量

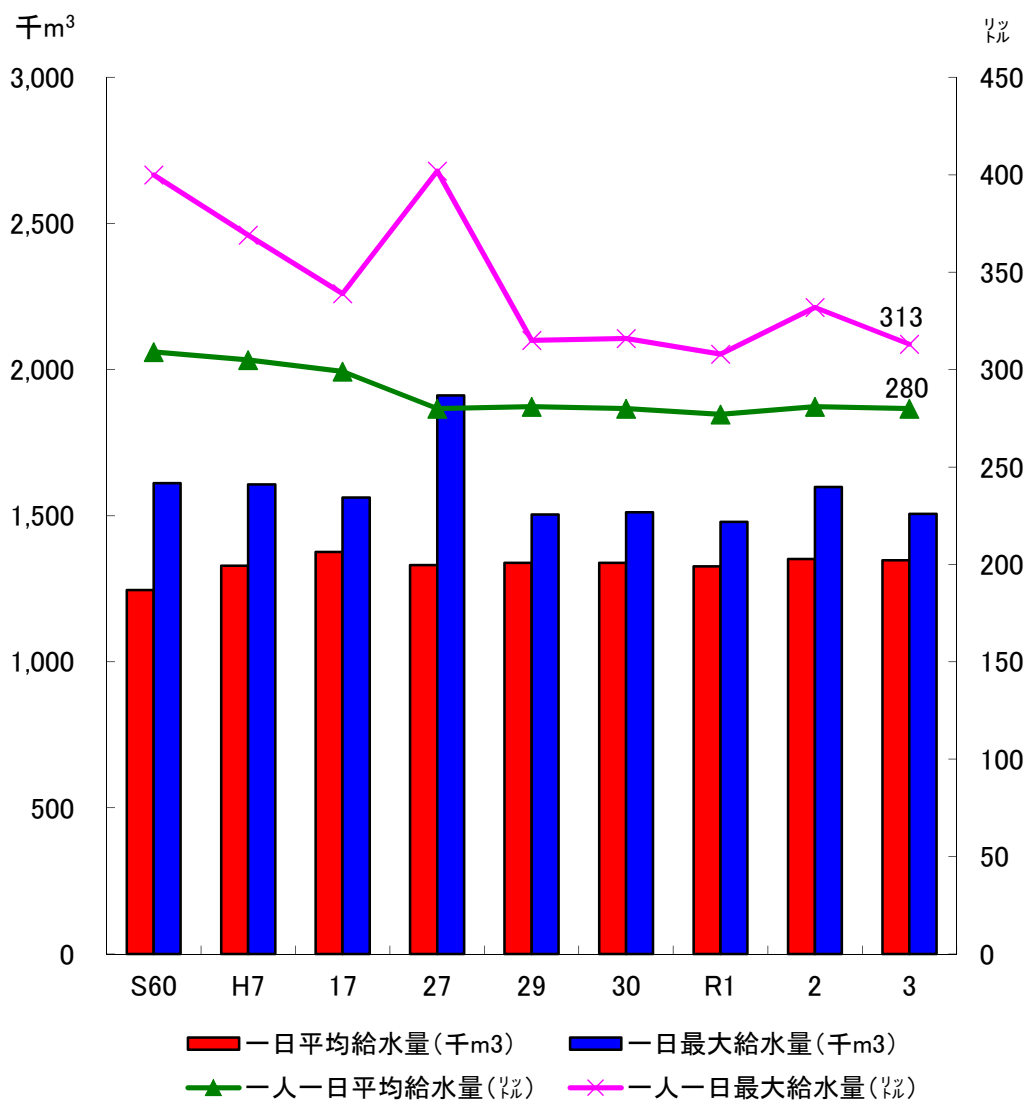
- ・ 日平均：年間給水量 ÷ 365日(1年)
- ・ 一人一日：日平均給水量 ÷ 給水人口

○ 最大給水量

- ・ 日最大：水道事業者ごとの日最大給水量の合計
- ・ 一人一日：日最大給水量 ÷ 給水人口

一日最大給水量、一人一日最大給水量は、平成28年1月の記録的寒波に伴う給水管の凍結・破損等による漏水の影響で一時的に増加した平成27年度を除き、ほぼ横ばいで推移しています。一日平均給水量・一人一日平均給水量については、近年、ほぼ横ばいで推移しています。

◎ 一日平均・最大給水量、一人一日平均・最大給水量の推移(上水道、簡易水道)



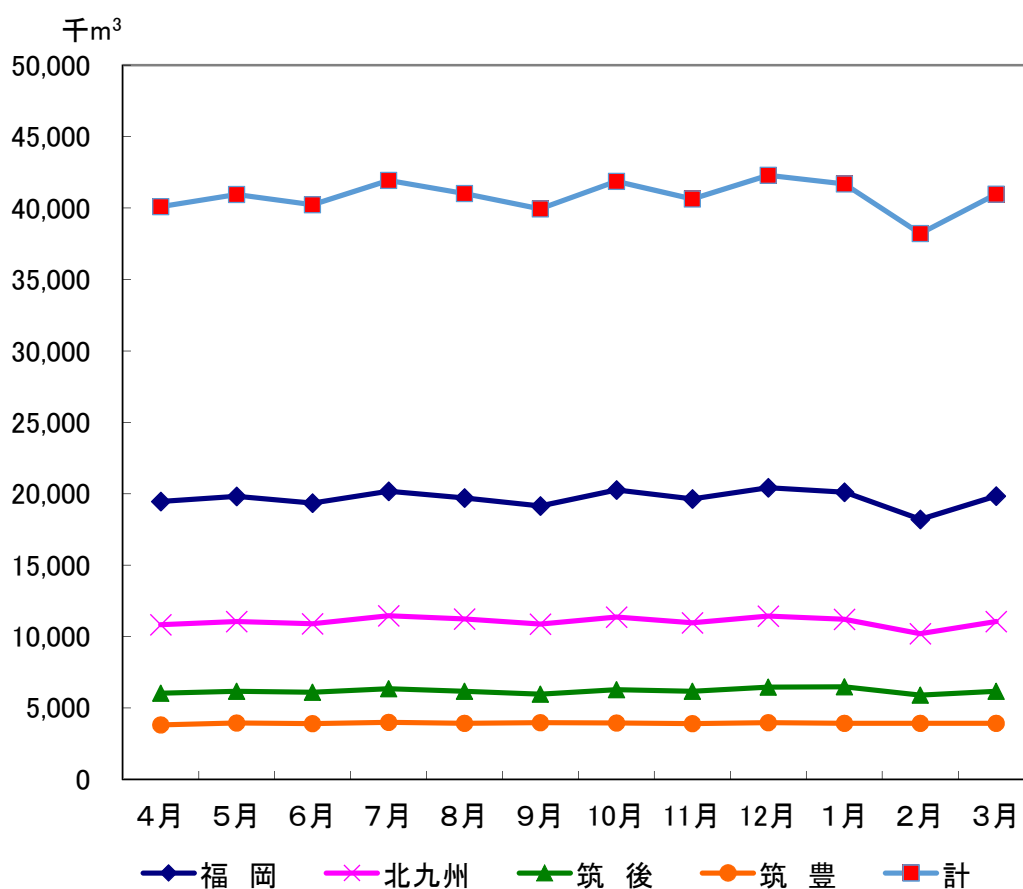
区分 \ 年度	S60	H7	17	27	29	30	R1	2	3
一日平均給水量(千m³)	1,245	1,329	1,376	1,331	1,339	1,339	1,327	1,352	1,347
一日最大給水量(千m³)	1,611	1,607	1,562	1,912	1,504	1,512	1,479	1,598	1,506
一人一日平均給水量(%)	309	305	299	280	281	280	277	281	280
一人一日最大給水量(%)	400	369	339	402	315	316	308	332	313

(4) 月別給水量

令和3年度の上水道事業における月別給水量の最大値は12月の42,301千 $m^3$ であり、最小値は2月の38,219千 $m^3$ となっています。

広域圏別にみると、福岡地区の最大値は12月の20,424千 $m^3$ 、最小値は2月の18,191千 $m^3$ 、北九州地区の最大値は7月の11,450千 $m^3$ 、最小値は2月の10,203千 $m^3$ 、筑後地区の最大値は1月の6,475千 $m^3$ 、最小値は2月の5,901千 $m^3$ 、筑豊地区の最大値は7月の3,988千 $m^3$ 、最小値は4月の3,806千 $m^3$ となっています。

◎ 月別給水量(上水道)



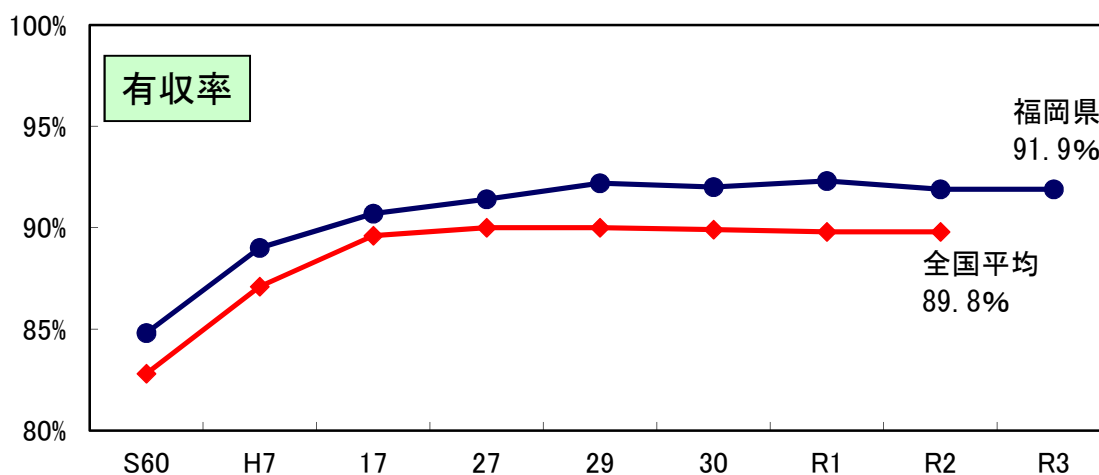
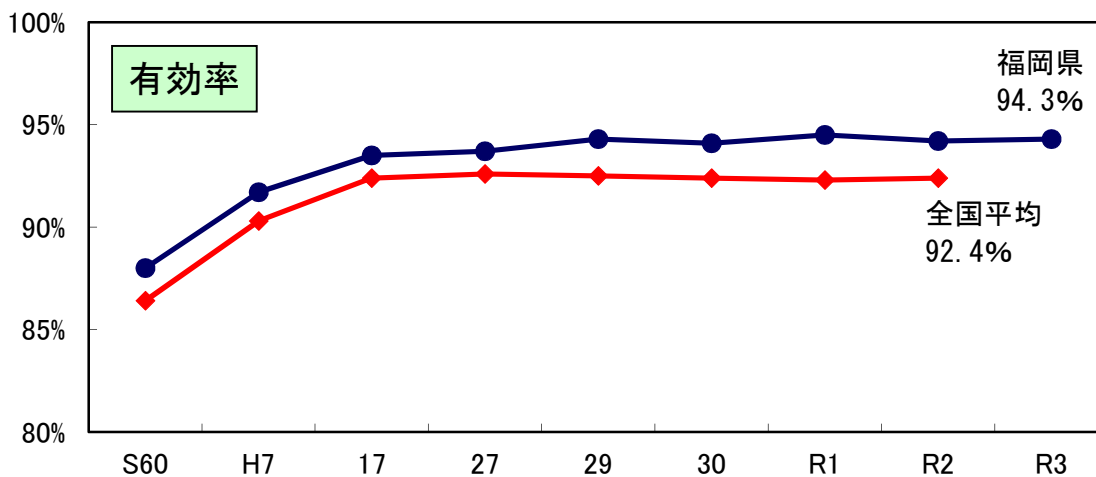
広域圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福岡	19,445	19,806	19,341	20,178	19,694	19,136	20,258	19,635	20,424	20,107	18,191	19,830	236,045
北九州	10,831	11,045	10,899	11,450	11,227	10,878	11,364	10,964	11,432	11,197	10,203	11,051	132,541
筑後	6,023	6,155	6,084	6,331	6,165	5,969	6,283	6,153	6,463	6,475	5,901	6,166	74,168
筑豊	3,806	3,948	3,905	3,988	3,929	3,960	3,954	3,887	3,976	3,916	3,918	3,917	47,104
計	40,105	40,954	40,229	41,947	41,015	39,943	41,859	40,639	42,295	41,695	38,213	40,964	489,858



(5) 有効率、有収率

上水道事業における令和3年度の有効率は94.3%、有収率は91.9%となっており、どちらも全国平均を上回って推移しています。

◎ 有効率、有収率の推移(上水道)



		S60	H7	17	27	29	30	R1	R2	R3
有効率	福岡県	88.0%	91.7%	93.5%	93.7%	94.3%	94.1%	94.5%	94.2%	94.3%
	全国	86.4%	90.3%	92.4%	92.6%	92.5%	92.4%	92.3%	92.4%	未公表
有収率	福岡県	84.8%	89.0%	90.7%	91.4%	92.2%	92.0%	92.3%	91.9%	91.9%
	全国	82.8%	87.1%	89.6%	90.0%	90.0%	89.9%	89.8%	89.8%	未公表

○ 有効率：年間給水量に対する有効水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度有効に使用されているかを示す指標

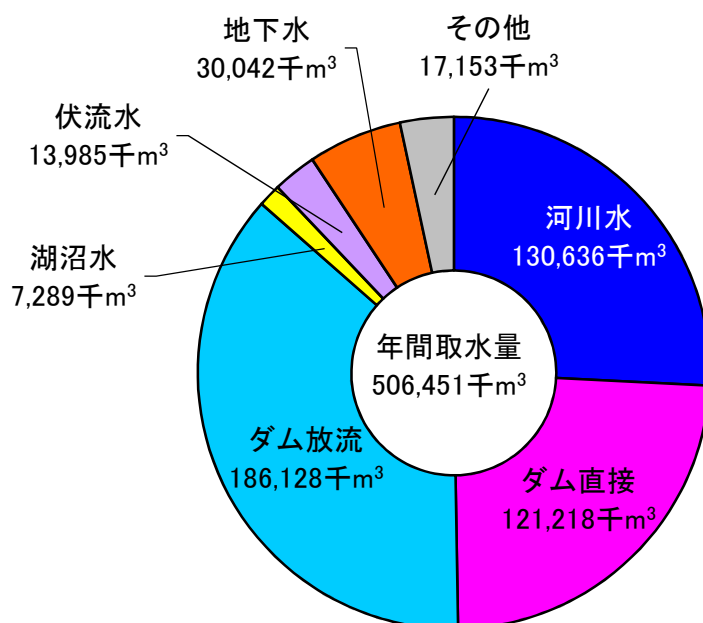
○ 有収率：年間給水量に対する有収水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度収益につながっているかを示す指標

※ 本資料作成時点で、全国の令和3年度の値は未公表

### 3 取水の状況

令和3年度における上水道事業及び水道用水供給事業の年間取水量は合わせて506,451千m<sup>3</sup>で、その大部分を表流水(河川水、ダム直接、ダム放流及び湖沼水)からの取水が占めています(87.9%)。

#### ◎ 年間取水量の内訳(上水道、水道用水供給)



#### ◎ 年間取水量の推移(上水道、水道用水供給)

(単位:千m<sup>3</sup>)

年度	S60	H7	17	27	29	30	R1	2	3
河川水	116,791	163,039	129,617	111,554	137,947	129,956	139,266	132,932	130,636
ダム直接	131,761	113,409	109,365	137,185	108,950	116,547	118,384	129,651	121,218
ダム放流	134,891	120,667	165,716	172,500	177,066	185,484	175,178	183,607	186,128
湖沼水	5,537	7,981	9,327	6,599	6,798	7,377	6,985	7,070	7,289
伏流水	22,736	24,389	31,518	15,968	19,356	18,743	19,117	12,844	13,985
地下水	47,998	56,701	49,135	35,865	33,887	32,091	30,492	30,149	30,042
その他	1,003	1,429	24,138	15,476	15,551	13,295	14,800	14,702	17,153
(海水淡水化)	-	-	(23,497)	(14,809)	(14,984)	(12,728)	(14,185)	(14,074)	(16,531)
計	460,717	487,615	518,816	495,147	499,555	503,493	504,222	510,955	506,451

※ その他欄の( )は、海水淡水化施設で内数。(平成17年度以降)

## 4 財務の状況

### (1) 総収益と総費用

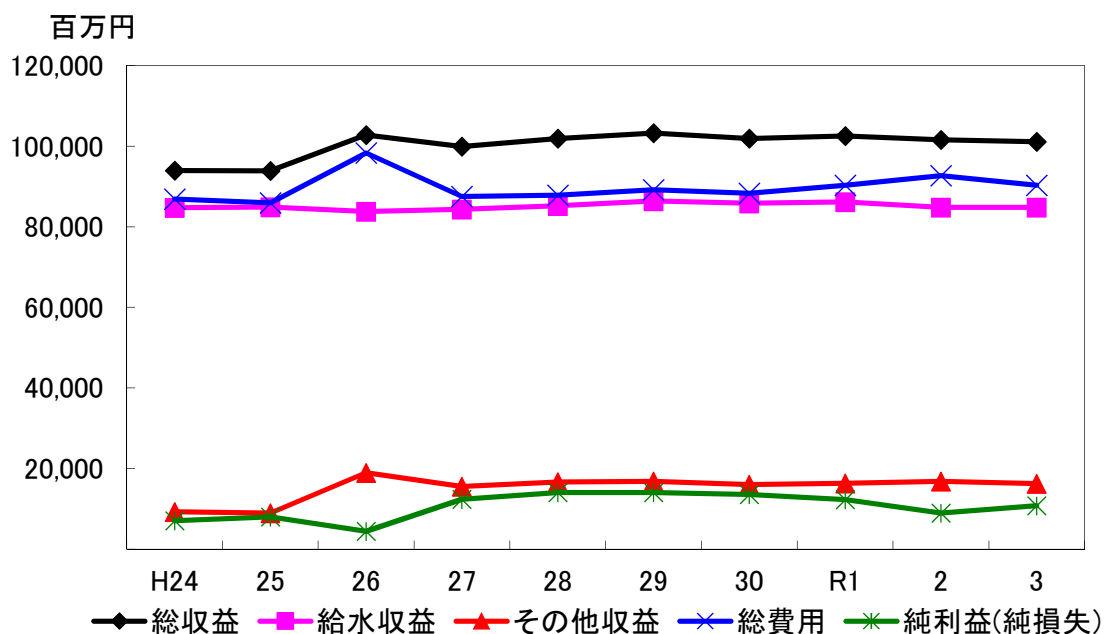
令和3年度における上水道事業の総収益は 1,011 億円となっており、前年度から 5 億円減少しています。また、総費用は 903 億円となっており、前年度から 24 億円減少しています。

なお、総収益から総費用を差し引いた純利益は 108 億円となっており、前年度から 19 億円増加しています。

### ◎ 総収益と総費用の推移(上水道)

(単位:百万円)

年 度	総収益 (A)		総費用 (B)	純利益(純損失) (A)-(B)
	給水収益	その他収益		
H24	93,967	84,699	86,908	7,060
25	93,840	84,874	85,887	7,953
26	102,737	83,752	98,337	4,400
27	99,874	84,341	87,490	12,384
28	101,890	85,209	87,866	14,024
29	103,221	86,379	89,173	14,048
30	101,855	85,859	88,330	13,524
R1	102,511	86,152	90,259	12,252
2	101,575	84,791	92,656	8,920
3	101,065	84,824	90,267	10,797



(2) 費用構成

令和3年度の上水道事業における費用構成をみると、減価償却費と受水費が約半分を占めています。

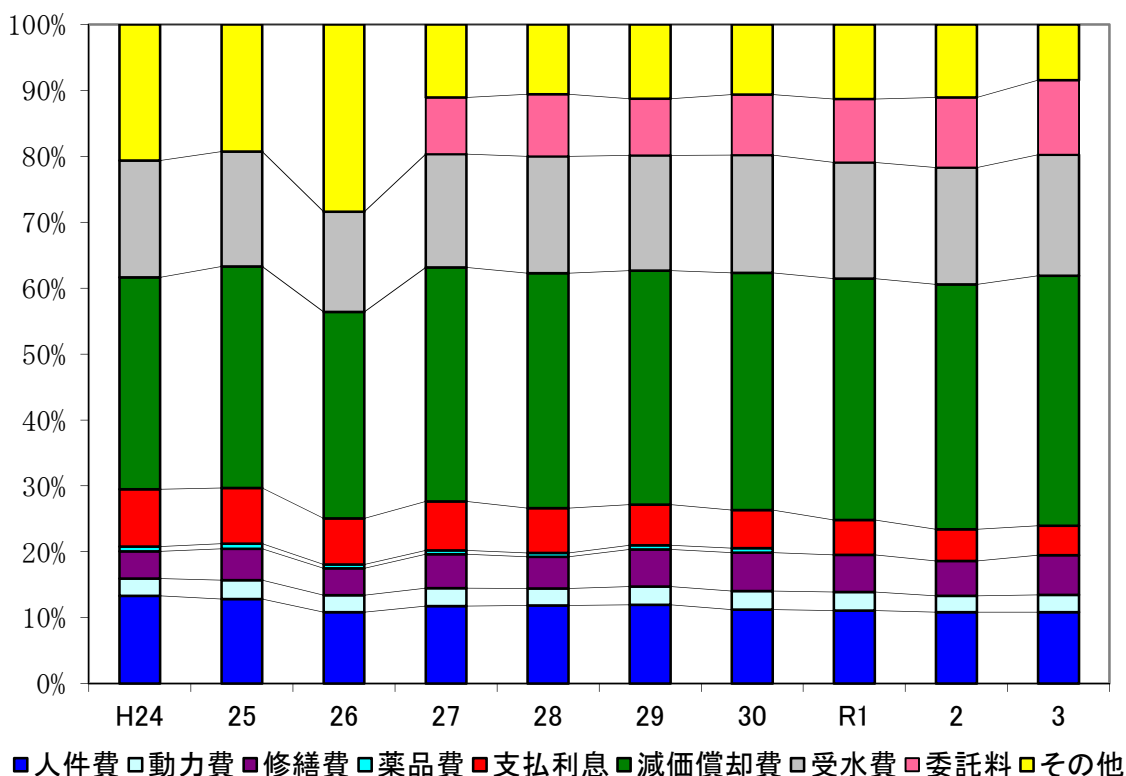
また、減価償却費は増加傾向にあります。

◎ 費用構成の推移(上水道)

(単位:百万円)

年 度	H24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3
人件費	11,587 (13.3%)	10,919 (12.8%)	10,572 (10.8%)	10,162 (11.7%)	10,349 (11.9%)	10,581 (12.0%)	9,817 (11.2%)	9,853 (11.0%)	9,900 (10.7%)	9,637 (10.7%)
動力費	2,248 (2.6%)	2,457 (2.9%)	2,516 (2.6%)	2,373 (2.7%)	2,226 (2.6%)	2,451 (2.8%)	2,493 (2.8%)	2,524 (2.8%)	2,304 (2.5%)	2,363 (2.6%)
修繕費	3,594 (4.1%)	4,047 (4.8%)	4,029 (4.1%)	4,460 (5.2%)	4,223 (4.8%)	4,968 (5.6%)	5,088 (5.8%)	5,015 (5.6%)	4,829 (5.2%)	5,334 (5.9%)
薬品費	628 (0.7%)	640 (0.8%)	565 (0.6%)	507 (0.6%)	477 (0.5%)	542 (0.6%)	589 (0.7%)	721 (0.8%)	642 (0.7%)	699 (0.8%)
支払利息	7,551 (8.7%)	7,219 (8.5%)	6,832 (7.0%)	6,423 (7.4%)	5,950 (6.8%)	5,481 (6.2%)	5,040 (5.8%)	4,677 (5.2%)	4,398 (4.8%)	4,002 (4.5%)
減価償却費	27,974 (32.2%)	28,589 (33.6%)	30,585 (31.3%)	30,728 (35.5%)	31,075 (35.6%)	31,360 (35.5%)	31,503 (36.0%)	32,598 (36.3%)	34,009 (36.9%)	33,799 (37.7%)
受水費	15,404 (17.7%)	14,841 (17.4%)	14,846 (15.2%)	14,880 (17.2%)	15,457 (17.7%)	15,477 (17.5%)	15,640 (17.9%)	15,686 (17.5%)	16,235 (17.6%)	16,316 (18.2%)
委託料				7,462 (8.6%)	8,196 (9.4%)	7,577 (8.6%)	8,049 (9.2%)	8,546 (9.5%)	9,718 (10.5%)	10,070 (11.2%)
その他	17,911 (20.6%)	16,389 (19.3%)	27,773 (28.4%)	9,557 (11.0%)	9,245 (10.6%)	9,974 (11.3%)	9,289 (10.6%)	10,078 (11.2%)	10,135 (11.0%)	7,540 (8.4%)
計	86,896 (100.0%)	85,101 (100.0%)	97,718 (100.0%)	86,552 (100.0%)	87,199 (100.0%)	88,410 (100.0%)	87,508 (100.0%)	89,698 (100.0%)	92,170 (100.0%)	89,761 (100.0%)

※平成27年度から「委託料」が、統計項目として追加された。(平成26年度までは「その他」に含まれていたもの。)



## 5 水道料金（上水道）

水道料金は水道事業者ごとに設定されています。

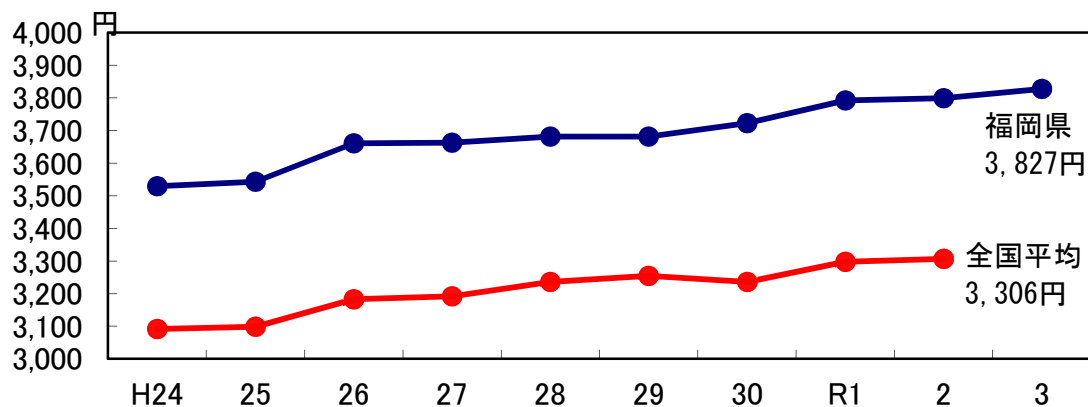
令和4年3月末現在における家庭用1ヶ月20 m<sup>3</sup>の水を使用した際の料金に対する事業数の分布は下記の表のとおりです。また、県平均の水道料金は3,827円となっています。

### ◎ 家庭用1ヶ月20 m<sup>3</sup>当たりの水道料金（上水道）

（令和4年3月31日現在）

区 分	事業体数
2,000円以上～2,500円未満	2
2,500円以上～3,000円未満	4
3,000円以上～3,500円未満	6
3,500円以上～4,000円未満	19
4,000円以上～4,500円未満	13
4,500円以上	6

### ◎ 県平均水道料金の推移（上水道：家庭用1ヶ月20 m<sup>3</sup>当たり）



（単位：円）

年度	H24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3
福岡県	3,529	3,543	3,661	3,663	3,681	3,681	3,722	3,792	3,799	3,827
全国平均	3,092	3,098	3,183	3,192	3,236	3,254	3,236	3,298	3,306	未公表

※ 基礎料金・メーター使用料を含む

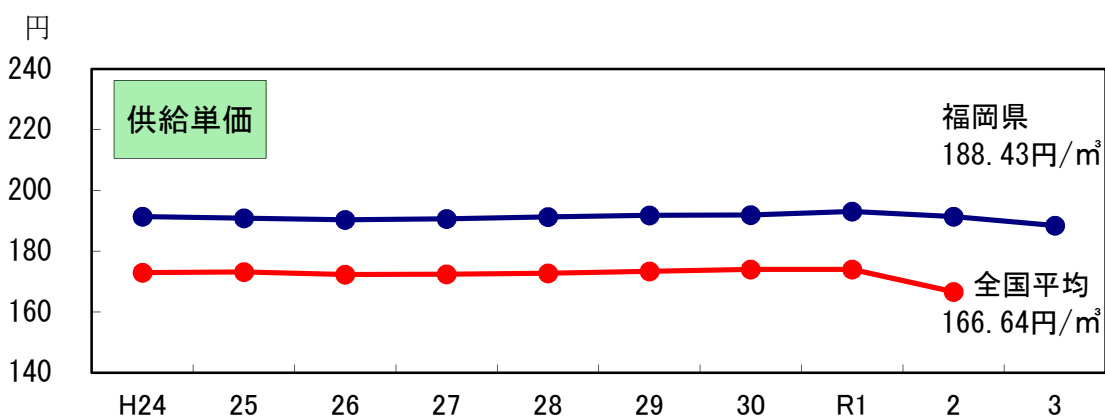
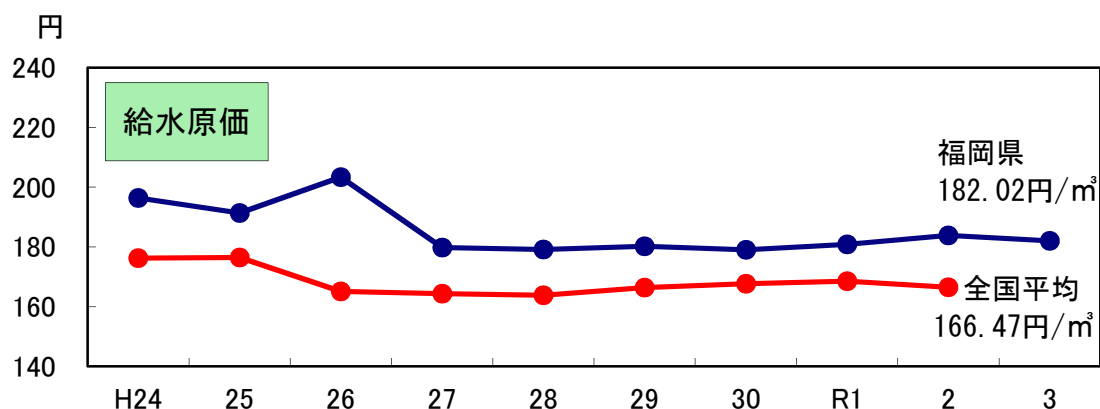
※ 本資料作成時点で、全国の令和3年度値は未公表

## 6 給水原価と供給単価（上水道）

令和3年度における上水道事業の給水原価及び供給単価はそれぞれ 182.02 円/m<sup>3</sup> 及び 188.43 円/m<sup>3</sup> となっています。

また、いずれも全国平均を上回って推移し、近年は横ばい傾向を示しています。

### ◎ 給水原価と供給単価の推移（上水道）



(単位: 円/m<sup>3</sup>)

年度		H24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3
給水原価	福岡県	196.36	191.35	203.39	179.74	179.17	180.20	179.06	180.90	183.91	182.02
	全国平均	176.26	176.51	165.13	164.40	163.85	166.41	167.70	168.58	166.47	未公表
供給単価	福岡県	191.39	190.84	190.32	190.64	191.25	191.83	191.94	193.08	191.41	188.43
	全国平均	172.95	173.12	172.34	172.47	172.80	173.33	173.99	174.01	166.64	未公表

○ 給水原価：有収水量1m<sup>3</sup>当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを表すもの。

○ 供給単価：有収水量1m<sup>3</sup>当たりについて、どれだけ収益を得ているかを表すもの。

※ 本資料作成時点で、全国平均の令和3年度の値は未公表